



No.791  
2023.1.6

発行：男声合唱団 昴  
レッスン会場：  
大阪市中央区谷町7丁目1-39  
谷町第2ビル308号 ねむかホール  
連絡先：090-6058-5652(立川)

2023年

10/22(日)

# 昴第14回コンサート

8/25(金)~27(日)

# 日本のうたごえ祭典

in 北海道



11/12「医療生協かわち野50周年の集い」での演奏（八尾プリズムホール）

2023年、新しい年が明けました。

昴にとって、昨年はいろいろな意味で激動の年でしたが、今年、10月22日（日）第14回コンサートを予定していますし、8月には北海道で日本のうたごえ祭典があります。

一人ひとりの力を集めて頑張りましょう。

## 1月の活動予定（会議を除く）

- 1/5(木) 18:15 声楽千秋教室 I
- 1/6(金) 13:30 声楽中村教室  
18:00 定例レッスン
- 1/8(日) 14:00 昴 友の会 定例練習会
- 1/10(火) 15:00 T1. 2パートレッスン  
18:00 Br. Bs パートレッスン
- 1/15(日) 14:00 定例レッスン
- 1/19(木) 18:15 声楽千秋教室 II
- 1/20(金) 18:00 定例レッスン
- 1/22(日) 14:00 核兵器禁止条約発効2周年の集い
- 1/29(日) 14:00 定例レッスン

## ごあいさつ

昴団長 千秋昌弘

新年明けまして

おめでとうございます



昴にとって昨年は大きな大切な1年でした。

4月に豊中文芸ホールでの第13回コンサート開催。

7月の総会后、指揮者が本並先生から坂井先生へと交代しました。新生昴の登場です。

9月府コンクールでは見事落選しました。

友の会、日曜団員が活動を開始しました。

11月にクラスターが発生し、換気タイムを取りながらのレッスンですが16名のレッスンという日が続いています。

今年2023年は、コロナを乗り越え団員を増やし、少なくとも30名でのレッスンで、8月北海道のうたごえ祭典に出演し、10月の14回コンサートを成功させ、新生昴ここにありと、存在を知らしめて参りましょう。

そのことが永年昴を築いて来られた本並先生や、諸先輩への、感謝とお礼になると信じます。

2023年、本年もどうぞよろしくお願い致します

2023年1月

## ごあいさつ

坂井 威文さん（指揮者）

あけましておめでとうございます。

今年は秋に第14回コンサートを予定しており、まずはそれを目標に走っていかねばなりません。

また、昨年は大阪で涙を呑んだ合発ですが、今年は北海道でぜひとも雪辱を晴らしたいですね。

そして、まだまだコロナが心配がご時世です。昨年は残念なことに団内でクラスターが発生してしまいました。

その後、運営委員会などで検証・対策をきちんとし、団員の方にも団員のご家族の方にも安心していただけるような練習環境を構築しています。

いちばん良いのは、今年こそコロナを忘れて熱唱できるようになることです。

個人的には昴2年生。まだまだわからないことや教わることもいっぱいですが、

人生の諸先輩たちにいろいろと勉強させていただきながら、昴での音楽づくりを今年も楽しんでいきたい所存です。

今年もよろしくお願い致します。





箕面・青山大学からの初日の出  
(撮影 伊藤 知)

## 映画「ラーゲリより愛を込めて」を見ましたか！ 立川孝信

俘虜収容所のことをラーゲリということも知らずに、どのように戦争を描いている映画なのかという程度の興味で映画館に足を運んだ。

シベリアの強制収容所に抑留され、零下40度という極寒の中、戦後11年も強制労働させられた兵士の実話である。主人公の「山本幡男」はロシア文学を勉強して通訳もできるインテリであり、シベリアに向かう列車の中でいきなり「いとしのクレメンタイン」を歌いだし、いい歌にはアメリカもロシアも関係ないという自由な考えの人物だった。後でこの歌は収容所での愛唱歌になる。

過酷な労働の中、自暴自棄になったり、脱走しようとして殺される兵士がいる中でも、この山本幡男は必ず日本に帰ると妻や子に約束したことを自らの希望として持ち続け、また周りの兵士たちにも「生きて帰国しよう」と励まし続ける。

時には俳句・短歌などを教えたり、ひもを巻いてボールを作りロシア兵に止められても野球をさせろと要求したり、いつも希望を捨てず人間らしさを失わずに生きた人物だった。いつしか周りの兵士たちは彼に影響され希望を持つようになる。

しかし希望を持とうと呼びかけた彼自身が癌になり余命3か月と宣告される。そんな中、兵士仲間は彼に遺言を書くように勧め、文字を書いたものは没収されるので、その遺言を4人で暗記することにした。

映画のラストはこの4人がそれぞれに山本の母・妻・子に遺言を伝えに来る。彼がどれだけ帰りたいかだろうと涙ながらに語る姿に見ている私も会場の人々もすすり泣いていた。

山本が入院中にポツリと「戦争は何と惨いものなんだ」といった言葉が耳から離れない。プーチンに聞かせたい。大軍拡・大増税を目論む今の政府に聞かせたい。

「うたごえ運動75周年」の今年、コロナに負けず「うたごえは生きる力」「うたごえは平和の力」を高く掲げて歌い続けよう！

## 昴のコロナ対策について—運営委員会報告

11月20日の運営委員会・レッスンでコロナクラスターが発生しました。12/11と12/18に緊急運営委員会を開き今後の対策について検討しましたので、要旨を報告します。

### 1. レッスン時の対策をさらに強化・徹底する。

- ①参加人数を把握する。パート毎に確認。
- ②左右1m、前後1.5mの間隔をきちんととるため、メジャーで測って、椅子の位置にテープを貼る。
- ③30分ごとの換気休憩のタイムキーパーを決めて、きちんと休憩の指示を出す。道路側の窓と廊下側のドアを開けて、空気を入れ替える。
- ④CO<sub>2</sub>センサーの置き場所を、空気よどんだ場所に変える。(指揮者、ピアノ、Tの壁側など)CO<sub>2</sub>の数値を常にみて、上がれば換気休憩の指示を出す。
- ⑤体温を家で測ってくる(平常時)。マスクの着用方法などの徹底を図る。

その他、今後の推移を見極めながら検討することに。

- ・レッスン時間を短くする。1回2時間に。
- ・人数を2分の1に分けて実施する。
- ・換気した時の寒さ対策が必要。

### 2. 換気設備の改善

12/13に吉田さんが換気の現状の測定を行い、今後の対応についての提案があり、検討を行いました。

#### 【現状の換気状況】

基本的には、道路側から空気を取り入れ、事務所小窓を通って廊下側に流れているが、換気扇の排気力が弱い。ホール内は、エアコン運転で乱気流となっている。

#### 【今後の設備対応への提案】

- ①現状のまま手動の換気対策を行う。
- ②廊下側の換気扇容量を大きくする。
- ③換気扇を撤去してダクトファンを設置する。
- ④道路側換気口を利用して外気を取り入れる。
- ⑤道路側換気口に強制給排気ファンを設置する。
- ⑥事務所側に排気用の開口工事をする。

検討の結果、当面、事務所と玄関にある換気扇2台を4台に増やすことになりました。

他にも道路側の換気扇やサーキュレーターなどいろいろな換気改善方法が提案されていますが、費用対効果、費用の負担方法、ビルの改修における制限など総合的に判断する必要があります。

建築工事業者など専門家にも意見や費用の見積もりを求めて、それをもとに検討していくことになりました。

今回のクラスター発生により、練習に来ることに対して団員や家族の方の不安が増しているように思います。また、コロナ以外の傷病者の方もいますし、このままでは練習参加者が減ることが考えられます。

今回、当面の対策を考えてみましたが、**不安を取り除けるようなさらなる対策を考えていきたい**と思いますので、練習の参加者が増えるには何が必要か、団員のみなさんの思いをどんどん出してください。